



Rotary 古河東

Weekly Bulletin

2020.5.27

5月の強調月間『青少年奉仕月間』

会長 江口紀久江 幹事 松本幸子

報 告 事 項

◆ 松本幸子幹事

[感謝状とマスク贈呈]

新型コロナウイルスと日夜最前線で戦う医療従事者を支援すべく、現在までに古河総合病院、友愛記念病院、栗田動物病院に感謝状とマスクを贈呈しました。「医療現場でのマスク不足はいまだ深刻で、本当にありがたい」と言っていました。

本号では、古河総合病院と友愛記念病院での贈呈式の模様をお伝えします。

5月18日古河総合病院（江口会長から福江眞隆院長へ）この色紙は小森谷久美会員のお母様の筆によるものです。



5月22日友愛記念病院（江口会長・松本幹事から加藤奨一院長へ）友愛記念病院では、事務局トップとして女性が活躍しています。



[次年度の委員会編成について]

江口年度は、残念ながら6月も休会となります。この状況での委員会（委員長）引継ぎは難しいかと思いますが、ご理解いただき、互いに連絡を取り、協力しあって、バトンタッチが出来ますようご協力を宜しくお願いいたします。

(3) 2020-2021年度委員会編成表

◎委員長 ○副委員長



◆ ロータリー情報委員会 佐谷道浩委員長

ロータリー情報委員会では、江口年度内に、RLI についての勉強に引き続き、ロータリーの歴史や基礎知識をテーマにした「いちご会」を開催したいと考えていました。しかし、そうした集まりを持つことは難しい情勢であるため、会報の紙面をお借りして、ベテラン会員からの玉稿を掲載させていただくことになりました。

その第1回は、杉岡パスト会長にお願いしました。入会5年未満の会員向けに、奥の深い内容をわかりやすくご説明いただきましたので、是非ご一読ください。なお、今後は、zoomなどのインターネットを使用したロータリー情報の提供も検討しておりますので、ご期待ください。

紙 上 卓 話

◆ 杉岡榮治

「決議 23-24 について」

決議 23-34 は 1923 年国際ロータリー (RI) 第 14 回セントルイス大会で制定された決議案です。

現在は 3 年に 1 回開催される規定審議会にて制定案と決議案の審議決定を行います。それまでは国際大会で諸々の取り決めを行っていました。

現在の手続要覧には社会奉仕に関する 1923 年の声明 (1923 Statement on community service) となっていますが、四大奉仕部門が設定されたのが 1927 年なので現在の社会奉仕の指針を表したものでなく、ロータリー活動全般に関する指針になるものです。

当時、ロータリーの哲学である奉仕の心を学びそれをロータリアン個人がそれぞれの家庭生活、職業生活及び社会生活において実践に移すことがロータリー運動の本質だとする理論派と団体で奉仕活動を実践することこそがロータリーの使命だとする実践派との争いが激しくなり分裂の危機まで心配されていました。

個人奉仕派 (I serve) と団体奉仕派 (We serve) との対立です。

実践派の中心となったのが身体障害児対策に熱心に取り組み全国的な規模の奉仕活動を行っていたエドガー・アレンです。奉仕活動の実践に重きを置く実践派は身体障害者や貧困などの社会問題に取り組むべきと主張します。

国際ロータリー理事会は両派の考え方を調和させるとともに従来からある奉仕の考え方や行動を整理・調和させるための努力を繰り返します。最終的にはテネシー州ナッシュビルロータリークラブのウィル R メニアを中心とする委員会によって起草・提案された決議 23-34 の採択によって、論争の終止符が打たれ両派の対立は解消しました。

ロータリークラブの多様性と相手の立場を認める寛容性を象徴する決議案だと思います。

決議 23-34 はロータリーの二つの奉仕理念 (公式標語・モットー) を定義しています。

一つは Service above self (超我の奉仕) で人道的奉仕の考え方です。具体的には国際レベルの事業としてポリオ撲滅活動であり当クラブで行っている地区財団活動資金を利用したネパールの学校への文房具・スポーツ用品の支援、医療機器の贈呈等が挙げられます。

『超我の奉仕』と言うと抽象的で解りづらい表現ですが、ロータリーの創始者と言われるポール・ハリスに対しロータリーの建設者と言われ 1910 年～1942 年まで国際ロータリーの事務総長を務めたチェスレー・ペリーは『利己の心を超越して、他人のことを思いやり、他人のために尽すことである』と定義しています。これだと解り易いのではないのでしょうか。

東京ロータリークラブを創立した米山梅吉翁は「奉仕第一、自己第二」と翻訳しています。

もう一つの標語はアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した He profits most who serves best 「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」です。

彼は、1902 年にシカゴにシェルドン・ビジネス・スクールを設立して、経営学、特に販売学を教えてい

ましたが、1908年にシカゴ・ロータリークラブに入会し、ビジネススクールで教えていた He profits most who serves best 「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」という理念をロータリークラブに持ち込み、その後ロータリーの標語として現在に至っています。初期のロータリークラブの物質的相互扶助による会員の事業の発展から、継続的に利益をもたらす顧客を確保することによって事業を発展させようという、シェルドンの経営学に基づいた事業運営に転換することにより会員事業所の継続的な発展に寄与してきました。

『奉仕するものは行動しなければならない』奉仕活動についてこのように規定しています。

ロータリーは単なる心構えのことを言うのではなく、行動に表さなければならない。ロータリアン個人もロータリークラブも奉仕の理念を実践に移さなければならないとしクラブの奉仕活動については毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年異なっていて、できればその会計年度内に完了できるようなものを後援、実施することが望ましいとされています。

奉仕プロジェクトの見直しは最近言われなくなっているようですが 10 年位前は当地区でも見直し、検討を要請していました。5 年継続している事業はレッドカード、3 年継続はイエローカードとして見直しを要請していました。これはこの決議 23-34 が根拠になっていたようです。

又、奉仕活動について、クラブがひと固まりとなっていて行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかなっていると言える。それは、ロータリークラブでの社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである。と書かれています。私が入会した頃には『ロータリーは奉仕団体ではない。奉仕する人を作る団体である』とよく先輩から、或いは地区の研修会等で聞かされていたものですが、やはりこの決議 23-34 から言われていたことだと思います。

以上、解りやすく決議 23-34 について書いたつもりですが、不明な点につきましてはお手元にある『手続要覧』を見ていただければ幸いに思います。

会 員 か ら の お た よ り

[1] テイクアウト古河東

山水さんのドライブスルー（せいろ飯をいただきました）



静さん



喜楽さん（家呑み用）



やなぎや遊水亭さん



エチオピアは特に危険地帯というわけでもないが、北東部のエリトリアとは国境紛争でごたつきがある。東の隣国・ソマリアとも若干の問題がある。ということで両国の国境付近を歩くことは歓迎されていない。ボクは 2017 年 1 月、エリトリアの国境に近いエルタアレア火山に登った。エチオピア第 2 の都市・メケレから 4WD に分乗しキャラバンを組んでいく。兵士が数人乗り込み銃で護衛しながらの物々しいツアーであった。

エルタアレア火山には、
4WD で隊列を組んで向かう



(左) タイヤが砂にめり込み走行不能
(右) ロープで引張たり、押したりして脱出



(左) ツアーには銃をもった警官が同行する
(右) 現地人は、はだしでがれきの中を歩く



(上) 夜空を見ながら毛布にくるまる
(下) 頂上の僅かな空間にマットを敷く





煮えたぎる火山湖。時おり火柱があがり、
周辺を明るくする



山頂からラクダで下山。途中、手綱が緩み
転落、右膝を破壊



右足が大きくはれ上がり、正常歩行が
できなくなった



江口紀久江さんから頂いたサポーターで
固定、荒縄でしめた



サポーターと荒縄で強烈に締め上げた足
と杖で塩湖まで歩く



塩湖から切り出したブロック状の塩を
ロバとラクダが運ぶ



今日もホテルは青空ホテル。
竹製ベッドに毛布でくるまる



強烈サポーターと荒縄療法で、途中帰国
もなく火山旅行完遂

今後の予定

2019-2020 年度 RI マーク・ダニエル・マローニー会長

テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

2019-2020 年度 古河東ロータリークラブ 江口紀久江 会長

クラブスローガン「つなげる親睦 広がる奉仕」

2019-2020 年度 第 2820 地区 中村澄夫ガバナーズローガン「人、学びて更なる奉仕」

古河東ロータリークラブ

例会日程	例会会場	内 容
------	------	-----

◆ 5 月、6 月例会は全て休止です

古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ

例会日程	例会会場	内 容
------	------	-----

5 月 26 日 (火) 午後 7 時 30 分	zoom にて (接続先は別途 ML 等でご案内します)	石川久古河東 RC 会長エレクトによる卓話
-----------------------------	---------------------------------	-----------------------

6 月 9 日 (火) 午後 7 時 30 分	zoom にて (接続先は別途 ML 等でご案内します)	未定
----------------------------	---------------------------------	----

6 月 23 日 (火) 午後 7 時 30 分	zoom にて (接続先は別途 ML 等でご案内します)	未定
-----------------------------	---------------------------------	----

古河地区ローターアクトクラブ

例会日程	例会会場	内 容
------	------	-----

◆ 5 月、6 月例会は全て休止です

◆ 原稿の送信先は e-mail megumi.saito@grace.ocn.ne.jp 又は FAX 0280-32-2450 (齊藤) までお願いします。



創 立：1982 年 (昭和 57 年 7 月 6 日) URL : <http://www.kogaeast.jp> 週報他、例会等の詳細情報はホームページをご覧ください。

例会日時：火曜日 (12:30~13:30) 例会場：古河商工会議所 3F (古河市鴻巣 1189-4 電話 0280-48-6000 FAX 0280-48-6006)

文 責：古河東ロータリークラブ会報 IT 委員会 [齊藤 (愛)・松井・白戸(里)]